

**2021年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）**

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 ／研究科 国際社会科学科／専攻 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 University of East Anglia, Politics, Philosophy, Language and Communication Studies
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2021年 9月 20日 ～ 2022年 5月 17日 出国日 2021年 9月 7日 最終帰国日 2022年 7月 30日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学前に掲げていた目標を全て実現させることが出来たという嘘になってしまいますが、目標に向かって挑戦したことや挫折したことも、将来の糧になったのではないかと思います。留学する前は実家暮らしで、日本という生活し慣れた環境でしか過ごしてこなかったから気づかなかったけれど、留学を通して異国の地で1人で生活することで、自分が今まで恵まれた環境で多くの人に支えられて過ごしてきたということに気が付きました。同時に、将来海外で仕事をしてみたいといった漠然とした目標も、実際に海外で生活することで、深く考えるきっかけ気なりました。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

これは皆さん言われていますが、留学前に英語の勉強をもっとしておけばよかったと思っています。私の場合は、コロナもあり、留学に行けるかが分からない状況でしたので、モチベーションを保つことが出来なかったということもありますが、それでも当たり前ですが、少しでも英語力のあった方が色々な人と話することができますので、やはり英語の勉強は必須だと思います。実際に現地に行けば英語を使うから、事前に英語を勉強しなくても何とかかなるだろうと思う方もいるかもしれませんが、何とかなくなってしまふのが問題だと感じました。実際にある程度の語学力があれば現地で買い物をしたりなど、生活をしていくことは出来てしまうのです。しかし、友達と話をしたりとなると話が別で、更に高い英語力が必要になってきますし、ネイティブスピーカーと話す時は留学生と話す時よりも英語力が必要だと

思います。ですが、留学が始まってしまうと、日々の生活で忙しく、まとまって英語を勉強する時間を取るのには中々大変だと思います。なので、現地で充実した楽しい留学生生活を過ごすためにも、留学前に言語の勉強を出来るだけしておくことが必要です。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

私が履修していた授業の先生方はとても熱心で、質問があれば授業以外の時間でもメールなどで親身に答えてくださるので、きちんと自ら勉強していれば、留学生でも授業についていくことは可能であると感じました。

授業では先生から理論の説明などがありますが、他の学生とディスカッションをする機会が多く設けられていました。ここできちんと発言するためには、予習をすることが必要不可欠です。しかし、留学生も多くいるので、英語の間違いなどがあっても、理解しようとしてくれるので、そこは心配せずに授業に臨むといいと思います。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

初めてキャンパスを見たときは、その大きさにとても驚きました。大学はイギリスの伝統的なレンガ造りではなく、コンクリートなので、とてもモダンな印象を受けます。大学にはスーパーやカフェ、バーなどもあるので、大学のキャンパスからでなくても生活できると思います！キャンパスには大きな湖があったり、馬やウサギ、リスがいたり、とても自然豊かな環境で過ごすことができます。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

Learning Hub では留学生向けに英語の授業が開催されており、Listening, Reading, Speaking, Writing の4技能の授業がありました。それぞれ1時間ほどの短い授業です。授業は無料で人気なので抽選ですが、前期、後期どちらも開講されるので、参加することは出来ると思います。更に、Language and Communication Studies では第二言語の授業などがオプションで履修することが出来、ノンネイティブスピーカー向けの英語の授業なども履修することが出来ました。こちらは、Language and Communication Studies の学生以外では有料になるかもというような話を伺ったことがあります。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

UEA は留学生が多いので、Visiting UEA という国際センターのような部署があり、留学前にはメールで必要事項などを教えてくれたり、授業前にはイベントを開催して、留学をどう過ごしていけばよいかのアドバイスなどを貰える機会がありました。授業が始まっても、定期的に大学のバーや、街のボウリングやゴルフ場などで様々なイベントがあり、他の留学生と知り合う機会も多くありました。Visiting UEA の方々はとても気さくに話しかけて下さり、質問なども基本的にはすぐに回答して下さったので、とても助かりました。

Visiting UEA サポートして、Buddy program など現地 UEA の学生と知り合う機会もありました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

UEA で留学生向けの奨学金等は把握していませんが、アルバイトがしたいなどの希望があれば、Career central など質問したり、申し込むことができます。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

Norwich はとても安全な街なので、気を付けて過ごしていれば、特に危険なことはないと思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

大学から Norwich の街までは大学の目の前にあるバス停から簡単にアクセスすることができます。London のように大きな都市ではないですが、Norwich は歴史のある街で、人も優しく、生活に必要なものは全て揃えることができます。お洒落なカフェや雑貨屋さんなども沢山あるので、1年では回りきることが出来ないほど、魅力のある街でした。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮、University Village Courtyard B, Ensuite Plus

(2) 家賃

年間 (現地)

通貨) 約£6,158.28、(日本円) 約 102 万円

(3) 食事

自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩

(5) 感想、良かった点・悪かった点

University Village にありますが、場所によっては、On campus の寮とさほど変わらないくらいの距離で、大学まで徒歩で約 10 分ほどで行くことができ、キャンパスへのアクセスがとてもよかったです。キャンパスにある、大学のシンボルのような建物である Ziggurats で、毎晩パーティーなどが行われてたと聞いたことがあります。私のフラットではそのようなこともなく、University Village 自体夜にとっても煩いということはあまりなかったので、リラックスして過ごすことが出来ました。一番近くの Tesco までは歩いて 10 分ほどで、もう少し行くと大きな Aldi というスーパーもあるので、自炊する食材も手に入れやすい環境だったと思います。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 105 万円 (協定留学のため、学習院大学の学費)

(2) 渡航方法と金額

飛行機、(日本円) 約 20 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 £970 、(日本円) 約 16 万円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

クレジットカード/国際ブランドプリペイドカード/現金

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

イギリスでは基本的にカードで支払いが出来るので、現金を利用することはほとんどなかったですが、地方の小さいお店などでは偶に現金しか受け付けていないこともあるので、現金も多少あると安心だと思います。逆に、カードしか受け付けていないお店も多いので、クレジットカードは必須です。日本のクレジットカードだと偶に使えない場所もあるので、Visa や Master などの国際ブランドのクレジットカードを何枚か用意していくと安心だと思います。

また、現地では簡単に作れるネット銀行の口座などもあるので、現地で作成すると、友達に送金する際や支払いの際にとっても便利だと思います。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

飛行機代として使わせて頂きました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動

(2) 保険料

12 万円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外旅行保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

大学で紹介された保険なので、登録までがとても簡単で、スムーズでした。

実際にイギリス留学中に風邪をひいた際や、けがをした際に何度か保険を利用しましたが、LINE で連絡が取れたり、国際電話があるので、海外からも簡単に利用することが出来ました。今回はコロナ禍の留学だったので、保険登録が必須でしたが、そうでなくても、留学中は慣れない環境やストレスで一度は体調を崩すことがあると思います。海外で病院に行ったりするのは緊張しますし、体調が悪い中ならなおさら大変ですが、私が利用した保険では、通訳してくれるサービスがあったり、日系の病院を紹介してくださったりするので、とても安心して利用することが出来ますので、保険に入っておいて損はないと思います。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／航空便

コロナ禍なので、郵送方法も限られていたり、途中から食料品が送れなかったり、日本からイギリスへの荷物の受付が一時中断することなどがありました。

(2) 持って行って良かったと思う物

100 均で購入した、靴置き、フック、便座シートなどがとても役に立ちました。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

私は隔離期間があったので、食料品なども沢山持っていきましたが、イギリスだとアジアスーパーなどがあるので、値段は高いですが、醤油や味噌などのメジャーな調味料などは手に入るの、現地で調達してもいいと思います。

また、洋服なども Primark や H&M など安く購入することができるので、スペースがない場合は、必要最低限なものだけで大丈夫だと思います。

(4) 持って行けば良かったと思う物

調味料などがあると記入しましたが、日本のお菓子などはあまり見かけなかったの、好きなお菓子があれば、お土産屋自分用に持っていくといいと思います。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業の準備、復習など

大学の寮に住んでいたの、休みの時間は自分の部屋に戻るか、図書館に行って勉強をしていました。

偶にサークルの活動に参加したり、授業の後に友人と City によるご飯を食べに行くこともありました。

春など暖かくなってきてからは、University Lake の周りでピクニックなどを楽しむ学生が多かったです。

(2) 週末

週末は、City にショッピングしに行ったり、少し遠くの街に出かけたりすることもありました。

所属していたクラブの活動で、大会に参加することもでき、有意義に過ごすことが出来たと思います。

8. 後輩へのアドバイス等

留学ではこれをして、あれをしてなどやりたいことが沢山あると思いますが、留学を下から急に人が変わるというわけではないので、日本で今までできなかったことは急には出来るようにならないので、きちんと日本にいる間から準備をしておくことが大切です。

留学では大変なことが沢山あると思いますが、留学を終えるとそれも良い思い出の1つとなるので、諦めずに頑張って挑戦してください。でも、本当に大変な時は周りに助けを求めることも大切です。UEA はサポート体制が整っているなので、どんなことでも気軽に相談していくといいと思います。最高の留学生活を送れることを願っております！

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

コロナ禍の留学ということで、普段とは違うことや大変なことを様々ありましたが、留学に行かなければ知れなかったこと、出会えなかった人、行けなかった場所に行くことができ、留学をすることが出来て本当に恵まれているな、留学することが出来て良かったと心から思っています。留学を実現させるにあたって関わってくださった方々や、留学中に会ったすべての方々に感謝をしたいです。ありがとうございました。